

## 中央大学高等学校創立 90 周年を迎えて

中央大学高等学校は、1928年に中央大学初の附属校として設立された中央大学商業学校が前身です。1948年に中央大学高等学校に校名を改めました。1957年に普通科を併設、1966年に商業科の募集停止、幾度かの校舎移転を経て、1980年8月に念願の単独校舎を現在の後楽園キャンパス8号館に得ることが出来ました。1993年から昼間定時制普通科となり、後楽園キャンパス新3号館・2号館の一部にも教室・アリーナ・小ホールなどの高校施設を充実させ、現在に至っています。

2008年、中央大学高等学校は創立80周年の際に「未来への誓い」をたてました。

中央大学高等学校は今こそ、この言葉の重みを噛みしめ、まずは「これまでの十年をこれからの十年に繋げる」ための一歩を踏み出します。そして中央大学高等学校が、中央大学高等学校として在り続けるために、これからも不断の努力、精進を重ねて参る所存です。

この場を借りまして、中央大学高等学校を支えてくださっている各方面の方々に、御礼申し上げます。



創立当初の駿河台校舎正門の写真です。右側門柱に中央大学商業高校、左側門柱に中央大学の看板が掲げられていました。

### 「未来への誓い」

私たちは、試練を乗り越えてきた先輩から、決して諦めない心を学びました。  
そして後輩へ、新たな挑戦を続け、何事にもくじけない心を伝えます。  
今、世界はかつて経験したことのない困難に直面し、大きな苦しみにあえいでいます。  
私たち自らが灯となって世界を照らし、輝かしい未来を築く先駆けとなることを誓います。

## 保健体育研究所 40 周年イベント 展示企画展を開催

本研究所は、2018年11月に設立40周年の節目を迎えます。これを記念し、6月25日(月)～29日(金)の5日間、多摩校舎中央図書館1階エントランスホールおよび2階カウンター前を会場として展示企画展を開催しました。

展示内容は、①本学ゆかりのオリンピック・パラリンピアン提供の貴重な品々(メダル・ウェア・シューズなど)、②世界トップ選手(石川祐希選手・飯塚翔太選手)の凄さ体感企画、③本学ゆかりのオリンピック・パラリンピアンのパネル展示、④保健体育研究所の沿革・研究内容紹介という構成でした。

来場者はメダルの輝きに目を見張り、競技ウェアを間近にしてその質感をくいいるように見つめ、体感企画では実際に体を動かして歓声を上げる姿も見られました。「本物を見ると感動する」というある来場者の言葉が、今回の企画の本質を物語っていたように感じられました。

期間中は天候にも恵まれ、学生、教職員、父母、地域住民など、5日間で延べ393名の来場者があり、盛会裏に終了することができました。

2020年東京五輪を2年後に控え、国内でもスポーツやトップアスリートに関心が高まる中、来場者は熱のこもった品々と接し、五輪という夢の舞台と本学とのつながりに想いを馳せ、スポーツをいつになく身近に感じてもらえたのではないかと考えています。

